

未来を担う人づくり

【子どもが健やかに育つ環境づくり】

2004年度は、神奈川県次世代育成支援対策推進協議会を設置し、子供を生み育てる環境の整備を図る「かながわぐるみ・子ども家庭応援プラン」を策定し、また、身近な地域での子育て相談や子育てに関する情報提供、一時保育の場の提供を支援するとともに、ひとり親家庭に対する就労や子育てなどの日常生活の支援に取り組みました。

2005年度は、幅広い県民の皆さんが少子化の問題をともに受けとめ、次世代育成支援のための社会や地域づくり、家庭の子育て力の向上に向けた意識啓発や活動の促進を図るため、「かながわぐるみ・子供家庭応援プラン」の重点プログラムの一つとして、次世代育成支援推進のための県民活動に関するプログラムを推進します。
(保健福祉部)

【これからの社会に対応する教育の推進】

2004年度は、児童・生徒の学習状況や学力定着状況を把握し、学ぶ意欲を高める習熟度別指導など個に応じた指導、総合的な学習の時間の取組みを充実させ、子どもたちの確かな学力の向上を図りました。また、学級編制の弾力的運用として、市町村教育委員会と連携して研究指定校の小学校1学年において少人数学級を実施したほか、2003年度に策定された神奈川県子ども読書活動推進計画に基づき、神奈川県子ども読書活動推進会議を発足し、各機関・団体と連携して子どもの読書活動の効果的な推進を図りました。

2005年度は、学校教育における諸課題について研究し、教科などの指導や、評価の工夫・改善、教育活動の充実を図ります。
(教育委員会)

【豊かな心と体を育む教育の推進とそれを支える地域社会づくり】

2004年度は、児童・生徒の心の問題に対応するため、スクールカウンセラーによる相談体制の拡充、小学校段階での不登校などの未然防止や早期発見を図るための「子どもと親の相談員」の配置などの取組みを行ったほか、こころの問題で保健室を訪れる児童・生徒に適切に対応できるよう養護教諭を対象にカウンセリングにかかる研修を行いました。また、「食」についての意識の高揚・資質の向上を図り、食に関する指導が充実した形で行われるよう、学校給食に従事する職員や管理職に対し研修や研究会を行いました。

2005年度も引き続き、同様の取組みを行います。
(教育委員会)

【地域に根ざした学校づくりの推進】

2004年度は、学校評価システムの導入や学校評議員制度を活用した開かれた学校づくりを進めるとともに、資質、能力を持った人材を幅広く確保するため、民間からの人材を校長として登用しました。また、児童・生徒のボランティア活動を通じた地域との交流活動の取組みに対し支援を行いました。

2005年度は、民間人校長の登用をさらに進めるほか、引き続き、県立学校において多様な公開講座を開催します。また、すべての高校生が、地域貢献の活動に取り組むことができるよう、活動の場を確保する取組みなどを行います。
(教育委員会)

【多様で柔軟な高等学校教育の推進】

2004年度は、県立高校改革推進計画に基づき、新しいタイプの県立高校を9校設置するとともに、後期実施計画を策定しました。また、入学選抜制度を改善し、特色に応じた学校を主体的に選択できるように県立高校の学区を廃止しました。さらに、生徒の職業観・勤労観を育成するインターンシップを実施したほか、高校生の文化芸術活動への取組みを支援しました。

2005年度は、県立高校改革推進計画後期実施計画を着実に進めていくほか、各校において、特色ある高校

づくりに取り組みます。また、生徒の多様な就職ニーズに対応し、直接就職活動を支援するジョブサポーター（就職支援等支援員）を新たに配置するなどの取り組みを行います。（教育委員会）

【安全で快適な教育環境の整備】

2004年度は、快適な教育環境を確保するため、県立高校改革による再編整備と整合を図りながら、老朽化が進みつつある県立高校の校舎の老朽化対策を進めたほか、県立学校の耐震補強工事などを実施しました。

2005年度は、快適な教育環境の確保や児童・生徒などの安全確保の視点から、県立学校の校舎について耐震診断を集中的に実施するとともに、耐震補強工事などを進めます。また、災害発生時に学校が避難所として使用されることを想定し、学校における防災体制の確立を進めます。（教育委員会）

【一人ひとりの障害の状態に応じた教育の推進】

2004年度は、障害のある生徒が円滑な学校生活を送れるよう、県立高校に介助員を配置したほか、障害児や教育上特別な支援を要する子どもたちに対する教育相談や情報提供を行うなど地域の障害児などの自立と社会参加の支援を行いました。また、養護学校の整備をするとともに、看護師資格を有する教員を肢体不自由教育部門のある県立養護学校に配置することにより、学習機会の確保を図ったほか、障害児の社会的自立促進のため、就労対策や現場実習などの進路指導の充実を図りました。

2005年度は、個別の支援計画の取り組みや、看護師資格を有する教員を平塚ろう学校へ配置するなどの取り組みを進めます。（教育委員会）

【ふれあい教育運動の推進】

2004年度は、教育県民運動の一層の推進を図るため、様々な教育課題についての論議に取り組む「神奈川の教育を推進する県民会議」への支援を行ったほか、ふれあい実践活動をより一層進めるため、（財）神奈川県ふれあい教育振興協会が実施する自然体験活動事業などを支援しました。

2005年度は、だれもが気軽にかつ安全に自然に親しめる3つの「県立ふれあいの村」により、ふれあい運動の実践活動の一層の深化・浸透を図ります。（教育委員会）

【心豊かに育つ社会環境づくり】

2004年度は、青少年センター本館の老朽化に伴い引き続き改修工事を行うとともに、機能を見直し、青少年施策を展開する拠点としての整備を進めました。また、青少年や県民の活発な舞台芸術活動を支援するため、青少年センターホールなどの舞台設備（舞台機構、照明設備及び音響設備）の整備工事を行いました。さらに、複雑化・深刻化する学校・家庭教育に関する悩みに適切に対応するため、教育相談員の能力向上のための研修を実施したほか、家庭教育力を充実させるための冊子の配布やテレビ番組の放送など行いました。

2005年度は、青少年センター本館をオープンします。（県民部、教育委員会）

【私立学校教育の振興】

2004年度は、教育条件の維持向上、修学上の経済的負担の軽減及び学校経営の健全性の向上を図るため、私立学校の経常的な経費や特色ある教育への取り組みに対し支援を行ったほか、一定所得以下の保護者などの学費負担を軽減するため入学金や授業料を軽減した私立高等学校などや、障害のある幼児を受け入れる幼稚園に対して、それぞれ支援を行いました。

2005年度も引き続き、同様の取り組みを行います。（県民部）